

## 利用ガイドブック（自然学校用）補足資料

### 1 本校で実施できる活動

どんぐりコレクション	もみじがり	香りをきく
紙すき体験	鉛筆づくり	火おこし
自然発見！クロスワード	～ミッションを果たせ～	野外炊事
うどんづくり	棒焼きパン	カートンドッグづくり
隠れ家づくり	自然物クラフト	焼き板
竹細工	草木染め・藍染め	苔玉づくり
わら細工	勾玉づくり	星空観察
ナイトハイク	水辺の生き物観察	施設散策オリエンテーリング
自然観察	朝来山登山（早朝朝来山登山）	テント設営・テント泊
家族への手紙・はがき書き	自然学校新聞づくり	班旗づくり
短歌・川柳・俳句・詩づくり	キャンプファイヤー	キャンドルサービス
カウンスルランタン	木ホルダーづくり	

### 2 校外で実施できる活動（徒歩・自転車で移動）

主な活動内容	場 所
竹田城下町散策・城跡登山・たけだ城下町交流館見学	竹田城跡、竹田城下町、たけだ城下町交流館
ヒメハナ公園サイクリング・ハイキング	ヒメハナ公園他
ハイキング等のコースポイントとしての温泉入浴	よふど温泉
食材の買出し	こめやストアー（ヤナセ店）
川遊び	円山川、与布土川（円山川漁協への申請が必要）
古代あさご館見学・勾玉づくり (勾玉づくりセットだけ購入することも可能。 ただし現金払い。また、講師として古代あさご館の職員を依頼できる)	古代あさご館
座禅体験	玉林寺、慈照寺

### 3 バスで移動しての活動（利用校の近年の活動実績等から）

主な活動内容	場 所
漕艇（カヤック・カヌー・カッター）体験	円山川公苑（豊岡市）
スノーケル体験	竹野スノーケルセンター（豊岡市）
陶芸体験	立杭陶の郷（丹波篠山市） 窯元やまの（丹波篠山市）
水産加工体験	ジオパーク海の文化館（香美町）
キャンドルづくり	竹野子ども体験村（豊岡市）

オサカナお料理体験（9月・10月限定）	浜坂漁業協同組合（新温泉町）
見学	生野銀山（朝来市） 神子畑選鉱場跡（朝来市） 茶すり山古墳（朝来市） コウノトリの郷公園（豊岡市） 玄武洞公園（豊岡市） 玄武洞ミュージアム（豊岡市） 植村直己冒険館（豊岡市） 城崎マリンワールド（豊岡市）

#### 4 施設の概要

施設名		定員等	備考
生活棟		270人	6棟 1棟定員45人（最大51人）
浴室棟		40人 (20人×2)	大浴場における入浴は一度に20人程度 シャワー（カラン）の数：12
	乾燥室	靴120足分	約40℃、8時間程度で靴等の乾燥可能
食堂		270人	カフェテリア方式、通常264席
大屋根広場		100人程度	共用スペース 照明・放送設備有り
芝生広場		100人程度	共用スペース
自然観察館		80人程度	理科備品多数 キャンドルサービス及び自然物クラフトも実施可能。イス、机が必要ならば利用団体で準備必要 ※イスを使用しない場合は100人程度収容可
森のスポーツ広場		200人程度	軽スポーツができる程度の広さ、キャンプファイヤー（大人数対応）
但馬ふるさと館	工作室	80人程度	備品多数。8人用テーブル×10卓
	研修室	60人程度	自然物クラフト及びキャンドルサービスも実施可能
	多目的ホール	60人程度	簡単なクラフト、班ごとのまとめ活動や発表会などが実施可能
うりぼうの森		50人程度	自然観察、散策
野外キッチン		192人程度	4棟 1棟につき、炉、調理場、流し、野外卓（8人掛）が6か所ずつ

## 5 プログラム作成上の留意点

・ねらいを明確に	・ゆとりあるプログラムを
・流れのあるプログラムを	・自然とふれあう活動を中心に
・振り返りや分かち合いを大切に	・事前や事後とのつながりを
・同一週利用校との場所の調整を	・スポーツは気分転換程度で

## 6 活動について

### (1) 危険生物

- ・本校職員から、出前事業及び入校式の諸注意でも児童には指導しますが、自然の中での活動については、毒ヘビ、スズメバチ、ムカデ、ヤマビルなどに注意する必要があることなど、利用校でも指導を徹底してください。

### (2) 野外炊事

- ・利用ガイドブックに記載してあるメニューから選んでください。
- ・ガイドブックに記載していないメニュー及び食材の場合は、事前に食堂業者とご相談ください。  
なお、食物アレルギーがある児童への配慮は利用校が責任を持って行ってください。
- ・食材の持込みは食中毒防止の観点等から禁止しています。  
※児童が授業の一環として栽培・収穫した米については例外として認めています。  
(野菜は、調理方法によって、要相談。)
- ・片付け等を考慮し、皿やスプーンを持ち込まれることを推奨します。
- ・カートドッグをする場合、アルミホイル、新聞紙、牛乳パック、火をつけるもの(マッチやライター等)が必要です。
- ・棒焼きパンは、棒に巻き付けるアルミホイル(一人あたり長さ 40 cm、幅 25 cm程度)が必要です。バーベキューコンロに炭を入れて焼くことをお勧めします。(薪の場合、火力が強すぎて表面が焦げ、中に十分熱が通らない)炭 6 kg (1箱) でバーベキューコンロ 3 台ぐらい、コンロ 1 台につき 5～6 人ぐらいが目安になります。パン生地の発酵により、夏場は生地がベタベタになることがあるので、取扱いに注意が必要です。
- ・使用するキッチン是他の利用校と相談の上決定します。
- ・バーベキューコンロを使用する場合は、コンロのある薪置き場の近くであるキッチン 4 が便利です。
- ・11 月以降は、日没が早く、気温・水温が低くなり、児童の健康に影響があるため、夕方の野外炊事は避けてください。
- ・バーベキューコンロで網を使用する場合は、ご持参ください。  
※バーベキューコンロのサイズ：(縦×横×高さ) 30cm×45.5cm×70cm

(3) **自然物クラフト** 南但馬森の案内人に依頼可能。

- ・半日で、各自思い思いの作品を作られる学校が多いですが、自然散策を兼ねて素材収集から始め、1日かけて活動するプログラムをデザインすることで、自然と触れ合い、つながりのある活動となります。
- ・焼き板は、野外炊事時の残り火で板を焼く方法と、バーナーで焼付けをする方法があります。形が面白く、木目が美しく出るのは残り火で焼いた方です。焼き板の飾り付けは、自然物を接着したり、文字を入れたりして色づけする場合は、少しくらいが美しい作品に仕上がります。
- ・竹細工をする場合、本校の竹を伐採してその竹でクラフト等を行うことができます。なお、食堂業者に竹を注文する場合、孟宗竹（節が1つ）・真竹（節が2つで細い）の両方またはどちらかを用意することが可能です。孟宗竹は、はし、スプーンに、真竹は、クラフト材料に適しています。南但馬森の案内人を依頼する場合は、事前に案内人とご相談ください。

(4) **隠れ家づくり** 南但馬森の案内人に依頼可能。

- ・隠れ家づくりはじっくりと1日かけて取り組む活動と考えています。
- ・事前学習として出前事業でロープワークを学ぶことができます。
- ・活動場所は、隠れ家づくりフィールド（きつね①）を原則とし、活動班は最大12班までとしています。
- ・フィールドのコンディション不良（雨天など）の場合は、大屋根広場で実施します。スペースとしては、6班まで（1班10人前後程度）がベストで、最大9班程度とします。（班編成が急に換えられない場合は、2つの班を1班に編成して班数を減らすこともできる。多人数では活動が難しい。）
- ・可能な限り南但馬森の案内人を依頼してください。
- ・児童の安全確保については、利用校で指導の徹底をお願いします。（活動エリア、フィールド地面の状態、丸太の運搬方法、はしご使用時の支え、高所での作業、片付け作業、走らない、ヘルメットや軍手の着用等）
- ・各班に1人または2班に1人の教員または指導補助員を配置する、ブランコ等児童が遊ぶ前に指導者が安全確認するなど、指導体制や安全管理を徹底願います。
- ・隠れ家が完成した後に、児童による相互評価や発表等の表現活動を行うと活動の振り返りの内容が充実します。

(5) **竹田城跡登山** 南但馬森の案内人に依頼可能。

- ・自然学校開始前に現地踏査を行い、コースや時間等を説明できるようにすることが大切です。駅裏登山道（約800m〔約40分〕）、南登山道（約3km〔約80分〕）の利用ができます。
- ・駅裏登山道利用の場合、本校から城跡（料金所）まで約5kmあり、徒歩で片道約1時間30分かかります。（途中、休憩を入れて約2時間を目安にしてください）

- ・竹田城下町方面は、坂が急で危険なため、サイクリングを禁止しています。
  - ・A E Dは料金所、北千畳、南二の丸の3か所に設置されています。
  - ・途中で町並みの散策や、「たけだ城下町交流館」の見学ができます。(問合せ：TEL 079-674-2120) (トイレ：虎臥城公園内1か所・たけだ城下町交流館2か所・J R竹田駅・まちなか駐車場・中腹駐車場・料金所付近にあります)
  - ・途中で雨が降った場合は、昼食を竹田コミュニティセンター(100人程度可)でとることができます。
  - ・竹田コミュニティセンターの利用を希望する場合は、利用校で直接予約してください。なお、他団体が使用している場合があることをご了承ください。予約につきましては、直接竹田地域自治協議会(TEL 079-674-2128)にお願いします。
- ※令和7年度は、他団体の毎週活動の予約があり、水曜日の利用はできません。
- ・弁当は、竹田城跡周辺へ配達可能です。弁当は、かばんに入れて登山すると汁がこぼれたり、偏ったりすることがあるため、おにぎりを注文されることが多いです。(おにぎりの配達は行っておりません。)
  - ・前日までにルートやトイレの場所の確認等を行ってください。
  - ・救急車両は、虎臥城公園かその周辺が待機場所になることが多いです。  
(一般車両の中腹Pへの乗り入れは不可ですが、免除許可申請を行った学校は、特別許可車両として1台のみ、中腹Pまで上がることができます。詳細は、朝来市観光交流課へ直接連絡をお願いします。[TEL 079-672-4003])
  - ・竹田城跡の入場は高校生以上有料(500円)ですが、小・中学校の教育活動における引率者は「観覧料免除許可申請書」(様式あり：「竹田城跡」公式HPからダウンロード可)を提出すれば無料(観覧日の3週間前まで)となります。(料金所で提示する必要があります)
  - ・本校から竹田城下町交差点間は、歩道のない区間があります。特に、ダンプカー等の大型車両が頻繁に往来するため注意して通行してください。
  - ・城内は一方通行で、観覧ルートがあります。昼食は、北千畳のみ可能です。(規制表示あり)
  - ・竹田城跡への早朝登山は実施しないよう計画願います。(近隣住民への配慮)
  - ・竹田城跡への入城時間(令和7年1月現在)

期間	入城時間	備考
3月1日～5月31日	8:00～18:00(最終登城17:30)	
6月1日～9月中旬	6:00～18:00(最終登城17:30)	
9月中旬～12月初旬	5:00～17:00(最終登城16:30)	
12月初旬～翌年1月3日	10:00～15:00(最終登城14:30)	山城の郷経由及び南登山道のみ入城可

※1月4日～2月末まで入城はできません。

※変更されることもあるため、市HP等で時間等を確認願います。

(6) **ヒメハナ公園サイクリング・ハイキング**

- ・自然学校開始前に現地踏査してください。
  - ・弁当はヒメハナ公園へ配達可能です。
  - ・約 6 km、徒歩で片道約 1 時間 30 分、自転車では行き 30 分、帰り 60 分程度を要します。一日での活動として計画願います。
  - ・雨天時や雨天になりそうな場合は、安全のため自転車を貸し出しません。
  - ・自転車利用の場合、出発前にマウンテンバイクに慣れる練習を 1 時間程度行います。  
(本校職員からの説明を含む)
  - ・事前にヒメハナ公園事務所に連絡してください。  
(1 か月前：学校名と参加人数、到着予定時刻、滞在時間 等)  
(Tel 079-676-4587 月曜定休日・月曜が祝日の場合は火曜・定休日は利用不可)
  - ・ヒメハナ公園の到着時に、公園事務所に必ず声をかけてください。
  - ・ヒメハナ公園には、長いすべり台や簡易なアスレチック等が設置してあります。公園の両脇には散策道が整備されています。また、公園内に年齢制限のある広場があるため、活動範囲についても利用校で指導をお願いします。
- ※サイクリング (H22) とターザンロープ (H23 ドクターヘリ要請)、長いすべり台 (H25・H26) でけがが発生しているので、人員配置や安全管理等を検討するとともに、児童に対して安全の確保を徹底願います。

(7) **朝来山登山**

- ・弁当は雲海展望台へ配達可能です。登山活動中に朝食を取る場合は、6：30 から食堂でおにぎりやパンを受け取ることができます。その際、水筒にお茶を入れてください。それより早く登山する場合は、前日にパンやジュースを受け取ることができます。
- ・大屋根広場から展望の丘までが約 20 分、展望の丘から雲海展望台までが約 45 分、雲海展望台から朝来山展望台までが約 20 分かかります。  
※途中休憩時間を入れず、大人が一人で歩くおよその目安です。
- ・雲海展望台付近にバイオトイレを設置しています。(登山の前にバイオトイレの鍵、塩、クマよけ鈴、無線機を渡します。早朝登山の場合は、前日に渡します)
- ・道中でクラフトの素材を収集することができます。
- ・道中は苔、落ち葉等で滑りやすいのでご注意願います。また、小石であっても落下すると下を歩いている人が大変危険なため、安全確保の指導を徹底願います。
- ・むささびコースは利用を禁止しています。
- ・ヘルメットの貸出が可能です。「隠れ家づくり」と併用のため、事前の調整が必要)

(8) **火おこし**

- ・本校の火おこし器を利用して、火おこし体験のみという活動は認めていません。  
※必ず野外炊事等、他の活動につながる取組として計画願います。
- ・取り組む時間を区切って計画願います。(30分～1時間程度)
- ・通称「とりの巣(麻ひもをほぐしたもので、ソフトボール1個分の大きさ)」は利用校で準備してください。

(9) **キャンプファイヤー**

- ・第1・第2ファイヤー場、大屋根広場、森のスポーツ広場の4か所で実施できます。  
※森のスポーツ広場は、原則気象条件の影響がなく、人数規模が適切な場合にのみ可能とします。ただし、芝生の上にトタン板を敷き、その上に薪を組んでください。
- ・大屋根広場で実施の場合は、食堂及び自然観察館トイレを使用してください。
- ・雨の日は、大屋根広場のみ実施可能です。
- ・1時間30分以内を目処に終了するよう留意願います。(最終20:30までを目処に終了し、21:00には児童が生活棟に戻ることができるよう計画願います)
- ・トーチ棒やライターなどキャンプファイヤーに必要な物品は利用校で準備願います。  
※使用した針金等は、灰と分別後に持ち帰りください。
- ・指導補助員等による教育上好ましくないアトラクション(ファイヤーダンス、火をふく行為等)は禁止します。
- ・分火等でトーチ棒が多くなり過ぎると危険です。児童同士の間隔を十分に確保できる本数にしてください。

(10) **キャンドルサービス・カウンスルランタン**

- ・自然観察館、研修室で実施可能です。(ロウソク・充電式LEDランタン)
- ・落ち着いた振り返りを行うのであれば、キャンプファイヤーよりも適しています。
- ・ロウソクは各学校で事前に準備願います。
- ・生活棟では、火気厳禁のためロウソクは使用できないので、充電式LEDランタンを使用することができます。

(11) **テント設営**

- ・雨が降ると、1人用、2人用テント、5人用テントは撤収するか、大屋根広場に待避する必要があります。※設営から撤収までの2日間の天気予報を見ながら実施の可否を検討します。
- ・テントや支柱、寝袋の収納袋は紛失しないように、原則、指導者が一括で管理願います。

(12) **星空観察** 南但馬森の案内人に依頼可能。

- ・日を確定せず、天気予報を参考に星が見える確率が高い日に実施できるよう柔軟な計画づくりをすることをお勧めします。

※雨天時に自然観察館等でプロジェクターを使って星空の解説を行うことが出来る  
南但馬森の案内人がいます。

(13) ナイトハイク

- ・入浴後の活動の場合、時季により服装などについてよく検討願います。
- ・安全上ロータリー、大階段、スロープ、生活棟周辺、キャンプ場までの外灯を消すことはできません。
- ・手持ちキャンドルや火を使うランタンは使用しないでください。

(14) 南但馬森の案内人の紹介

- ・南但馬森の案内人の紹介を希望する場合は、本校から南但馬森の案内人の連絡先を紹介しますので、利用校が直接南但馬森の案内人に連絡して、指導内容や時間、謝金等の打合せを行ってください。
- ・指導内容については、当日の円滑な運営のため、十分に打合せ願います。

(15) 指導補助員の紹介

- ・本校に登録している指導補助員を、希望する利用校に紹介しますので、直接交渉してください。
- ・教育事務所や市町組合教育委員会に登録されている指導補助員については、直接お問合せください。

(16) 夜間救急員の紹介

- ・本校に登録している夜間救急員に依頼する場合は、実施の1か月前までに本校へ連絡願います。
- ・本校が調整し決定後、各校より直接夜間救急員に連絡し、勤務時間、謝金について打合せ願います。

(17) 雨の日の活動

- ・天候は変わりやすいため、急な雨でも活動できるように、雨具を準備願います。
- ・雨で濡れて体が冷えた場合は、準備が整えば17:00以前でも入浴が可能ですので、事務室へ相談ください。ただし、申し出から入浴可能になるまで1時間程度時間がかかります。また、長靴の貸し出しや靴の乾燥機の使用も可能です。

(18) 医療機関での受診

- ・ガイドブックP14、青ファイル（入校時渡す：救急員用）、生活棟指導者室にある「救急体制等の手引き（赤ファイル）」に記載の医療機関に、利用校が直接ご連絡ください。
- ・個人医院は、17:00までに事前連絡を行うと17:30まで受診が可能ですが、曜日によっては休診しています。
- ・個人医院で受診できない場合は、遠方の八鹿病院か豊岡病院、神崎総合病院での受

診になります。

(19) **お茶について**

- ・朝のみ、食堂出入り口付近に準備してあるタンクから、水筒にお茶（常温）を入れることができます。（4、5月及び10～12月は緑茶。6～10月は麦茶。）
- ・追加のお茶は有料で準備できます。（約10ℓ 150円）
- ・夜のお茶が必要な場合は、毎夕食時食堂に連絡することで、各生活棟にやかん1個分（5ℓ）が無料で準備されます。（食堂から生活棟まで運ぶ必要があります）食堂は、夏季19：15、冬季19：00には施錠されます。

(20) **他校との調整について**

- ・同一週の利用校とは事前に連絡を取り合い、生活棟、活動内容・場所、食事(食事後のレーンの掃除順番)、入浴等の調整を十分に行ってください。調整が難しい場合は、本校職員が相談に応じます。
- ・食事や入浴の時間の最終調整は、入校後、16：20の担当者連絡会で行ってください。

(21) **持ち物（準備物）について**

- ・野外炊事では、児童に作業用手袋（綿100%の軍手を推奨）とふきん2枚（食器拭き用）を持参させてください。11月以降の寒い時に実施する場合は、ビニール手袋をした方がよい場合もあります。  
※軍手1枚では火傷することがあります。（火を使う活動では、樹脂が溶けるため、すべり止めのゴムのついた手袋は使用しない）
- ・クラフトや隠れ家づくりなどの活動を行う際にも、安全のため児童に軍手が必要となります。

(22) **食物アレルギーの対応**

- ・代替食については、食堂業者が対応可能な範囲となります。対応不可能な場合は、食材を持ち込んで、生活棟の冷蔵庫で保存し、本館で簡易な調理をすることが可能です。本館で、電子レンジ、オーブントースターを貸し出しすることができます。  
※学校給食で対応していないことについては対応不可

(23) **その他留意事項**

- ・野外での活動中に雷が発生した場合は、活動を中止し、速やかに近くの建物に避難してください。